

実験の楽しさを学ぶ

大須賀小学校 科学クラブ

わたしたち大須賀小学校「科学クラブ」は4年生以上の8人で、毎月第2金曜日に主に理科室でいろいろな実験をしています。

12月の活動では、ろうそくとクレヨンを使ってクリスマスキャンドルを作りました。最初に自分たちで持ち寄ったろうそくとクレヨンを細かくくだけき、星の形などにしたアルミホイルに入れて、アルコールランプに掛け溶かしていききました。熱くなり過ぎて溶かしたろうそが燃えないよう、加熱する時間などは顧問の加瀬先生・宇井先生と相談しながら、調整していききました。

これまでの活動の中で一番面白かったのはスライム作りです。ホウ砂を水で溶かし、洗濯のりと混ぜ、好きな色の絵の具で色を付けていき、材料がだんだんと固くなっ

て、つるつるの不思議な物体が出来上がったときは、みんな大興奮でした。機会があったらまた作ってみたいです。

このクラブではふだんは理科の授業以外にはあまり触れることのできない理科室の実験の道具を使うことができるし、毎回、小さな発見もあります。

これからもいろいろな楽しい実験の方法を調べ、クラブ活動を通して新しい発見をしていきたいです。



いろいろな発見があつて楽しいよ

ひろば

踊る喜びを分かち合いたい

フォークダンス下総

わたしたちは、毎週金曜日に下総公民館でフォークダンスをしているサークルです。教えてくれるのは前門英子先生。的確なアドバイスで、わたしたちの踊る楽しさを次々と引き出してくれます。

フォークダンスは世界各国に伝わる民族舞踊です。曲はゆったりとした優雅なものから激しく情熱的なものまで実に多彩。踊り方も、手をつなぎ円形を描いて踊る「ラウンド」、パートナーを替えながら四辺形を描いていく「スクエア」などもあり、バリエーションに富んでいます。細かくステップ



笑顔を絶やさず



フォークダンスで心身ともにリフレッシュ

を刻むので、運動量も豊富。歩数に換算すると、2時間でもなんと6000歩以上にもなるんですよ。

練習では、自分のステップだけでなく、相手との呼吸や周りの空間を常に意識するようにと心掛けています。口で言うようには、なかなか上手くできないのですが、その分イメージどおりに踊れたときの達成感は、何にも代えがたいものがありますね。

そして、もう一つ忘れてはいけなないのが笑顔。手と手を取り合い、ともに踊る喜びをみんなまで分かち合う、それがフォークダンスです。わたしたちは、そうしたフォークダンスの原点を一番大切にしていきたいと思っています。

戦前から続く 活気に満ちた商店街

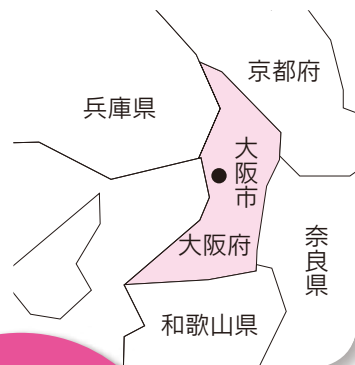
土井正夫さん(中台)

わたしのふるさととは、大阪府大阪市の千林です。

千林は、商都大阪の中でも1、2を争う商店街で、戦災を逃れた市内唯一の商店街として、また、スーパー発祥の地としてダイエー1号店がオープンし、地元商店と激しい競争が起こり「日本一安い商店街」として有名になりました。現在、約220店舗前後が軒を連ね、郊外からの買い物客も多く、大変な賑わいを見せています。

大阪といえば、何ととっても名物のたこ焼きとお好み焼き。たこ焼きはおやつ代わりに、お好み焼きは晩ご飯に食べていましたね。各家庭で独特の味があり、忘れることのできない味です。

東京オリンピックが開催された



アーケードも美しい千林商店街

年「夢の超特急」と呼ばれた新幹線が開通。それを見たさに淀川の渡し舟に乗って、隣町にある新幹線の車両基地までよく行きました。そして、6年後の大阪万国博覧会に向け、大阪の町はさまざまな整備が始まり、変貌する町並みの様子をよく覚えています。成田に移り住み18年。整備された街でゆったりとした暮らしができるというのが第一印象でしたが、近年の目まぐるしい開発には驚くばかりです。

市民の

ふるさとトーク 138 大阪府大阪市

ペット大好き 103



大澤 貞義さん(大袋)
モモ(メス)

子犬のころはボール遊びが大好きでしたが、今は昼間でも寝ていることが多い食いしん坊のモモ。最近やや太り気味なので、1日1時間以上かけて散歩に励んでいます。いつまでも元気でいてほしいので、健康面にも気を付けながら、これからもかわいくなっていきます。

スクスクのびのび 327

山崎 翔大くん(6歳) 玉造
奈々ちゃん(2歳)

遊ぶの大好き。休みの日は、近くに住んでいる友達とドッジボールやバドミントン、鬼ごっこをしたりして遊ぶんだ。お父さんやお母さんも一緒にとつても楽しいよ。空手を頑張っているんだ。青帯になったよ。次は黄帯を目指して練習中!大きくなったらもっと強くなって、空手の先生になりたいな。



佐々木 淳太朗ちゃん(宝田)

こんにちは赤ちゃん 123



佐々木 弓花ちゃん(宝田)